

第 48 回全国学童保育指導員学校・西日本・愛知会場（20230604）レポート

【クラブ】（つくしクラブ） 【名前】（西村 巧） 【立場】（指導員）

理論講座 6 子どもの生活とインターネット

講師曰く・・・

昭和生まれ→肉食系世代、平成初期→草食系世代、平成中期→植物系世代、平成後期→アバター世代。

時代の移り変わりによって変化する日本人の深層心理。僕らの世界は環境によって大きく変わる。

そしてこれは自分が経験してきた半世紀で大きく変わった。

その中心にあるのは『WEB 上の空想空間』。これなくしてこれからは生活できない。

子育てが AI によって完結される時代もすぐそこ。将来の夢は YouTuber。BIT の海。サーフィン。

Line で繋がる見えない絆は形を変えた友情の形？

コロナ禍でマスクの下では舌出しベロ出し、幸か不幸か表情を隠す術を習得した現代人はネット社会においてもその技術を存分に発揮し、いやいや一部の人間はタガが外れてそれ以上にその媒体を巧妙に操作し人を貶めたりする。オワタ。

肉食世代以前はそんな媒体のない時代をガツガツ闊歩し、我武者羅に未来を生きやすくするために働いた結果は令和に続く今の世界。

良くなるはずだった現代は実は形を変えて殺伐となったのでは？と警鐘を鳴らす「子どもの生活とインターネット」。

子どもたちの「本当の友達」は全てすぐに答えを出してくれて、文句を言ってこない、実に自分に忠実で、裏切らない。そんなスマホであったりタブレット。

人間らしさはアバター化した画面の中で踊るもう一人の自分が叶えてくれるから当の本人は常に無表情。さてさて便利な世の中になって、いらなくなった人情は今後どこで形を変えて、僕らを癒してくれるのでしょうか。

ニコニコ顔で始終インターネットに依存することの危険さを教えてくれた講師の先生に感謝をすると共に文明の利器は使う人間によって良くも悪くもなり、物の理をやはり理解しとかないとそれは諸刃の剣と化し、そんな事を僕ら指導員は伝えていかななくてはならないと思った。

忘れそうな「人間らしさ」はインターネットでは検索できない。

人と人の本当の繋がりは実は昔から大事にしてる学童保育所という大きな家族の中で培われている。

その事実を僕らもまた後世に伝えていかななくては、と思った。